

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
古典B	2 (4単位を 分割履修)	2年・普通科 スタンダード		古典B (第一学習社)	備考欄に記載

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「国語総合」において古典で学習した内容の発展を図り、古文・漢文の読解力を高めることを目指す。 ・古典としての古文と漢文を読む能力を養う。 ・ものの見方・感じ方・考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育む。
主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・古文・漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察する。
評価の 観点・規準	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしているかという観点から、「関心・意欲・態度」を評価する。 ・古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させているかという観点から、「読む能力」を評価する。 ・伝統的な言語及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけているかという観点から、「知識・理解」を評価する。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査にて「読む能力」「知識・理解」の度合いを判断・評価する。 ・提出物(授業中の作業に関わるもの中心)では、「関心・意欲・態度」の度合いを判断・評価する。 ・語彙力等確認小テストでは、「意欲」「理解」の度合いを判断・評価する。 ・授業への取り組みを通し、「関心・意欲・態度」の度合いを判断・評価する。 ・総合的に「関心・意欲・態度」「読む能力」「知識・理解」を評価する。

学期	内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・古文(説話・随筆)…比較的短い説話・随筆を鑑賞する。 文章のおもしろさを味わうとともに、古人のものの見方、感じ方について認識を深める。 また、一年次で学んだ文法事項を確認する。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・古文(随筆)…古典の文章に慣れ、簡潔で的確な表現を味わう。 ・漢文(故事成語)…それぞれの故事成語の本来の意味を理解し、現代における意味や用法を習得する。 漢文訓読の復習も行う。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・古文(物語)…物語を読み、古典に対する親しみを深める。登場人物の人間関係に注意しながら、その行動・心情をとらえる。敬語表現の学習も行う。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文(史話)…作品に現れた歴史上の人物の素顔にふれ、その考え方や感情を読み取り、人間の生き方についての理解を深める。句法についての学習も行う。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・古文(日記・物語)…日記では作者の心情を正確に理解すること、物語ではそれぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかむことができるようにする。また、これまでに学習した文法事項を再確認する。

<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none">・ 講座の特色・ 履修条件・ 注意事項 <p>等</p>	<p>基礎事項の復習・定着から始めます。基礎修得のために小テストなども行い、理解度を測ります。また、必要に応じて宿題を課しますので、提出期限を守って下さい。辞書を引くなど授業前の予習も大切です。毎時間古典文法書を持参してください。また、出来る限り古典辞書を持参するようにしましょう。</p> <p>* 副教材 「完全マスター古典文法」(第一学習社) / 「わかる・読める・解ける 古文単語330」(いいずな書店)</p>
--	--